

# 産婦人科学

責任者: 杉山 徹 教授

## 一般目標(GIO):

産科および婦人科疾患を持つ患者に正しく対応し、疾患を診断・治療するために必要な検査・治療法を概説し、例示できる。

## 行動目標(SBOs):

一般目標に到達するために、次の具体的な事項を行動目標とする。

1. 女性性器、骨盤臓器の解剖を説明できる。
2. 外来で直接患者に対応し、診断上必要な主訴と現症の経過を把握し、記載できる。
3. 外来患者の問題点を整理し、考えられる疾患を列挙できる。
4. 外来患者に必要な検査を例示し、簡単な検査を実施できる。
5. 画像診断(超音波、CT や MRI など)の価値と限界を理解し、代表的な画像を読影できる。
6. 妊娠管理、分娩管理、および胎児管理を経験し、これに関する知識を理解する。
7. 先天異常、遺伝について概説し、妊婦への対応を理解する。
8. 出生児に起こる早期の異常症状を概説できる。
9. 帝王切開術を見学し、産科手術の手技を理解する。
10. 母児同室の意義と注意点を理解する。
11. コルポスコープ診、細胞診を見学し、所見や判定法を列挙し、これらの診断と病理組織診断との関係を述べるができる。
12. 悪性腫瘍患者について、その管理と治療の概要を理解する。
13. 悪性腫瘍の臨床進行期を表現できる。
14. 手術を見学し、腫瘍の肉眼所見、病巣の拡がり、転移の有無、癒着の有無などの識別を経験する。
15. 癌の告知、予後不良な患者の管理及び終末期医療を理解する。
16. 内分泌検査と診断について概説できる。
17. 不妊症の原因探究に必要な検査を理解し、治療法を概説できる。
18. 入院後に必要な検査および治療計画を概説できる。

## 特に留意すべき注意事項:

1. 実習開始前の準備・特に予習について
  - 2 週間の産婦人科の臨床実習に先立ち、第 1 週月曜日午前 8 時 50 分より実習のオリエンテーションが行われる。オリエンテーションは、教授、准教授、医局長あるいは病棟医長が担当する。
  - (1) 次の各事項を予習し、実習に備える。
    - 1) 患者からの問診のとり方と記載の要領
    - 2) 産婦人科の診察法と記載事項

3) 次の事項の基礎的知識を身につける。

- ① 女性性器の解剖、機能とその異常
- ② 性ホルモンの種類と作用の相関および代謝
- ③ 重要な婦人科疾患の症状、診断法、治療法、予後
- ④ 産婦人科で使用する主な薬剤、適応、副作用、禁忌
- ⑤ 産科診断法、正常妊娠の経過と異常の場合の早期症状
- ⑥ 産科手術、婦人科手術の適応と要約

4) 検査データの読み方と判定

5) 産婦人科患者の心理とその特徴

6) 学外研修を行う各教育病院の特徴と特殊性。規程の順守。

## 2. 実習方法・実習ガイド

(1) 実習期間は2週間、第1週の第1日目は月曜日、午前8時50分に医局に集合し、実習のオリエンテーションに続いて、主治医(各自に割り当てられた症例の担当医)の指示により実習を開始する。実習第2週は分野を交換して実習を行う。(実習第2週には原則として症例は割り当てられない。)

(2) 実習は指導医、担当医のもとで次のように行う。

- 1) 午前中は、外来で患者の問診を行い、これを整理、記録して、診察を見学する。また、模型により内診法を修得する。
- 2) 患者への侵襲の少ない検査を行い(例:妊娠反応、膣分泌物検査、頸管粘液検査など)、自ら判定する。[水準1]は実習期間中に修得できるようにする。
- 3) 産婦人科的な特殊検査(例:HSG、ヒューナーテスト、コルポスコピ、ラパロスコピ、骨盤計測、組織診、ヒステロスコピ、超音波検査等)を見学し、その結果を判定する。
- 4) 午後は、入院患者の検査、治療を担当医について見学し、実習水準1に示したように、その一部は担当指導医と共にそれを実行する。
- 5) 毎週金曜日午後の婦人科回診と産科回診に参加し、診断、治療について討議し系統講義および予習した知識を整理し充実させる。
- 6) 原則として、毎週月曜日、火曜日、木曜日に手術が行われるので見学し、その概要を整理し記載する。第二助手として手術に参加することもある。
- 7) 実習期間中の定められている日の2日間、グループに分かれて、県立中央病院、盛岡赤十字病院の2教育病院産婦人科において、学外実習を行う。
- 8) 毎週月曜日および金曜日午後5時からの臨床検討会では術前の患者の検討、術後の患者の報告、その他問題のある症例の検討が医局において行われるので全員参加する。

(3) 臨床実習の終了に際し、実習第1週目に各自に割り当てられた症例について、一般的な症例報告の様式に沿ってレポートを作成し教授に提出する。また実習自己評価表を記入した上、病棟および外来医長および教育スタッフから評価の確認を受け、教授の捺印をもって終了する。

3. 産科婦人科学の臨床実習においては、以下の点について注意を払うこと。

一定条件下で行う基本的医療行為の例示

[水準1]

指導医の指導・監督のもとに実施が許容されるもの。

(1) 診察

- ・全身の視診・打診・触診,妊婦の外診・腹囲・子宮底長の計測・血圧測定・レオポルド触診法・聴診・骨盤外測定
- ・褥婦の子宮底・乳房の触診
- ・正常新生児の視診・触診・聴診・アプガー採点法の実施

## (2) 検査

(生理学的検査)

- ・Non Stress Test (NST)

(画像診断)

- ・超音波断層法(経腹壁)

(放射線医学的検査)

- ・骨盤入口部撮影(介助)

(産婦人科特殊検査)

- ・膣洗浄度、頸管粘液検査
- ・妊娠反応
- ・コルポスコピイ

## (3) 治療

(看護的業務)

- ・悪露交換
- ・褥婦、術後患者の移送

(処置)

- ・皮膚消毒
- ・導尿、浣腸

(外科的処置)

- ・手術(第二助手)

## (4) 救急

- ・バイタルサインチェック
- ・気道確保(エアウェイによる)、人工呼吸、酸素投与

## (5) その他

(カルテ記載)

- ・問診の記載
- ・患者の概要の記載
- ・分娩記録の作製
- ・手術摘出物の記録

[水準 2]

状況によって指導医の指導・監督のもとに実施が許容されるもの。

## (1) 診察

- ・内診(双合診)
- ・直腸診
- ・分娩進行度の診察
- ・分娩後の産道の診察、腔鏡疹

## (2) 検査

(生理学的検査)

- ・Contraction Stress Test (CST)

(内視鏡検査)

- ・分娩監視装置  
(画像診断)
- ・超音波診断法(経膈)  
(産婦人科特殊検査)
- ・Huner Test
- ・細胞診検体採取(子宮頸部)
- (3)治療  
(処置)
  - ・創傷処置(腹壁、会陰切開創)
  - ・皮肉、皮下、筋肉  
(外科的処置)
  - ・切開排膿、縫合の第一助手
- (4)救急
  - ・気管内挿管、心マッサージ
- (5)その他  
(カルテの記載)
  - ・現症の記載
  - ・実施する検査、処置の目的・方法の患者への説明
  - ・手術記録の記載
  - ・手術摘出物の取り扱い(組織標本の診断)

[水準 3]

原則として指導医の実施の介助または見学にとどめるもの。

- (1)診察
  - ・産科救急の妊婦、褥婦の診察
  - ・新生児仮死の診察
- (2)検査  
(生理学的検査)
  - ・描記式卵管通気法(Rubin Test)
 (内視鏡検査)
  - ・子宮鏡、羊水鏡
  - ・腹腔鏡
 (放射線医学的検査)
  - ・子宮卵管造影法
  - ・骨盤内血管撮影法
 (産婦人科特殊検査)
  - ・子宮頸部・子宮内膜の生検
  - ・子宮消息子診
  - ・ダグラス窩穿刺
- (3)治療  
(処置)
  - ・ドレーン処置
  - ・創傷処置(腔内)
 (注射)

- ・動脈、静脈(中心)
  - (外科的処置)
  - ・遂娩手術、分娩介助
- (4)その他
- (カルテの記載)
  - ・患者および家族への病状説明
  - ・母親学級

## 第5学年臨床実習スケジュール[産婦人科学]

[第1週]

指導医師名：①杉山徹教授 ②菊池昭彦教授 ③福島明宗教授(臨床遺伝学科) ④竹内聡准教授 ⑤三浦史晴講師 ⑥庄子忠宏講師 ⑦本田達也助教  
⑧利部正裕助教 ⑨小見英夫助教

曜	1時限	2時限	3時限	4時限
月	オリエンテーション	問診の記載法について・外来実習	手術実習又は病棟における症例検討	病棟における症例検討・症例検討会
[場 所] [指導医]	[医局] ①⑤	[外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	[病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	[病棟・医局] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
火	外来実習又は手術実習	外来実習又は手術実習	手術実習又は病棟における症例検討	手術実習又は病院における症例検討
[場 所] [指導医]	[外来又は病棟] ④⑤⑥⑦⑧⑨	[外来又は病棟] ④⑤⑥⑦⑧⑨	[病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	[病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
水	外来実習	外来実習	病棟における症例検討	病棟における症例検討
[場 所] [指導医]	[外来]又は[県立中央病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨	[外来]又は[県立中央病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨	[病棟]又は[県立中央病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨	[病棟]又は[県立中央病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨
木	外来実習又は手術実習	外来実習又は手術実習	手術実習又は病棟における症例検討	手術実習又は病棟における症例検討
[場 所] [指導医]	[外来・病棟]又は[盛岡赤十字病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨	[外来・病棟]又は[盛岡赤十字病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨	[外来・病棟]又は[盛岡赤十字病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	[外来・病棟]又は[盛岡赤十字病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
金	外来実習	外来実習	産婦人科回診	産婦人科回診・症例検討会
[場 所] [指導医]	[外来] ④⑤⑥⑦⑧⑨	[外来] ④⑤⑥⑦⑧⑨	[病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	[病棟・医局] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

[第2週]

指導医師名：①杉山徹教授 ②菊池昭彦教授 ③福島明宗教授(臨床遺伝学科) ④竹内聡准教授 ⑤三浦史晴講師 ⑥庄子忠宏講師 ⑦本田達也助教  
⑧利部正裕助教 ⑨小見英夫助教

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	外来実習 [場 所] [外来] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	外来実習 [外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	手術実習又は病棟における症例検討 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	病棟における症例検討・症例検討会 [病棟・医局] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
火	外来実習又は手術実習 [場 所] [外来・病棟]又は[県立中央病院] [指導医] ④⑤⑥⑦⑧⑨	外来実習又は手術実習 [外来・病棟]又は[県立中央病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨	手術実習又は病棟における症例検討 [病棟]又は[県立中央病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨	手術実習又は病棟における症例検討 [病棟]又は[県立中央病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨
水	外来実習 [場 所] [外来] [指導医] ④⑤⑥⑦⑧⑨	外来実習 [外来] ④⑤⑥⑦⑧⑨	病棟における症例検討 [病棟] ④⑤⑥⑦⑧⑨	病棟における症例検討 [病棟] ④⑤⑥⑦⑧⑨
木	外来実習又は手術実習 [場 所] [外来・病棟]又は[盛岡赤十字病院] [指導医] ④⑤⑥⑦⑧⑨	外来実習又は手術実習 [外来・病棟]又は[盛岡赤十字病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨	手術実習又は病棟における症例検討 [病棟]又は[盛岡赤十字病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨	手術実習又は病棟における症例検討 [病棟]又は[盛岡赤十字病院] ④⑤⑥⑦⑧⑨
金	外来実習 [場 所] [外来] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	外来実習 [外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	産婦人科回診 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	産婦人科回診・症例検討会 [病棟・医局] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

## 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
診断用機械	コルポスコープ(腔拡大鏡)	2台	子宮頸部の境界病変の診断、生検を用いる。
診断用機械	ラパロスコープ(腹腔鏡)	1台	子宮内膜症の局所所見
診断用機械	卵管通気装置	1台	卵管疎通検査と卵管通気治療を行う。
診断用機械	ヒステロスコープ(子宮鏡)	1台	子宮腔の病変の検査と診断を行う。
診断用機械	超音波断層装置	3台	骨盤内臓器の所見・病変の観察、診断に用いる。
診断用機械	胎児監視装置	3台	胎児心拍数の持続的記録による胎児機能診断
診断用機械	分娩監視装置	1台	分娩中の胎児心拍、陣痛の監視
診断用機械	アムニオスコープ(羊水鏡)	1台	羊膜、羊水所見の観察、診断
実習用機械	胎盤、胎児の模型	2台	分娩機転、回旋の学習、胎盤位牽手術の修練
実習用機械	受胎原理模型	1台	受胎の原理の説明
実習用機械	女性生殖器模型	1台	女性生殖器の構造局所解剖の説明
視聴覚用機械	プレミアム超音波診断装置(LOGIQ7-T)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	顕微鏡用デジカメ表示用液晶モニター(L997-GY)	一式	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	ノートパソコン一式(VGN-FJ11BW)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	制御解析用コンピューター(BIO-RAD)	1台	臨床実習における症例検討
その他	キャノファックス(L860)	1台	臨床実習における連絡・通信の目的
視聴覚用機械	カラーレーザービームプリンタ(LBP5910)	一式	臨床実習資料作成
視聴覚用機械	デジタル一眼レフカメラ(D40レンズキット)	一式	講義用手術写真撮影
視聴覚用機械	液晶テレビ(LC-32D10-B)	1台	ビデオ供覧
視聴覚用機械	パソコン(VGN-FZ72B)	1台	講義資料作成
視聴覚用機械	パソコン(VGN-AR75UDB)	1台	〃
視聴覚用機械	プロジェクター(LV-7365)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	パソコン(バイオタイプ)	1台	講義資料作成
視聴覚用機械	パソコン(VGC-LM72DB)	1台	〃
視聴覚用機械	パソコン(VGN-NR72B)	1台	〃
視聴覚用機械	プリンター(PXB500)	1台	講義用プリント作成
視聴覚用機械	L型ディスク(DS23XQ-51)	1台	〃

## 成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について100点満点で評価する。

1. 出席点:20点
2. 実習評価1(教員による学生評価シートⅠ):20点
3. 実習評価2(教員による学生評価シートⅡ、症例レポート):20点
4. 国家試験問題形式の口頭試問:40点